

第22回アカデミックサロン開催のお知らせ

- 1.日時: 2018年11月28日(水) 18:30~20:00
- 2.場所: ㈱情報通信総合研究所(東京都中央区日本橋人形町2-14-10アーバンネット日本橋ビル)
2F 会議室
- 3.講師: ㈱情報通信総合研究所 ICTリサーチ・コンサルティング部 主任研究員 山本悠介氏

【略歴】2005年慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程単位取得退学、同年㈱情報通信総合研究所入社。以降、主に情報通信が経済に及ぼす影響や情報通信市場に関する調査研究に携わる。ICTによる地域経済成長に関する分析や情報通信市場の将来予測、商材別地域別企業規模別の情報通信市場規模の推計等に従事した他、近年では既存データで把握できていないICTの価値の分析に取り組んでおり、その一環としてICTを活用した働き方改革やシェアリングエコノミーの調査・分析等を実施。

㈱情報通信総合研究所 ICTリサーチ・コンサルティング部 主任研究員 鷺尾哲氏

【略歴】2011年新潟大学大学院自然科学研究科博士課程修了、博士(理学)。駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部助手を経て、2013年10月 ㈱情報通信総合研究所入社。以降、主に企業のICT利活用が業績や雇用に及ぼす影響について分析を実施。

4.テーマ:「ICTによる『働き方改革』の効果測定」

【概要】ICTは企業活動や人々の生活・暮らしの隅々にまで浸透し、各主体に価値/便益を提供していますが、公的統計等では把握できていない価値も多く、世の中で適切に認知されているとは言えません。そこで、世の中で注目されている「働き方」の観点から、ICT利活用が企業や従業員に与える価値/便益を、独自のアンケート調査を活用することにより分析しました。企業で進められているICTの利活用や働き方改革の取り組みが企業の業績や生産性、従業員の働き方にどの程度の影響を及ぼしているのかを定量的に推計することに成功し、ICT利活用も働き方改革も進んでいる企業では、ICTを活用した時間・場所にとられない働き方によって約4人に1人が月間20時間も労働時間削減効果を得ていることが分かりました。また、生産性が向上した企業の割合は、ICT利活用も働き方改革も進んでいる企業では30%となり、ICT利活用が進んでいない企業の約4倍となっています。このような分析を含む、「ICTによる働き方への貢献」の推計結果を解説します。

5.参加費: 無料(要事前申し込み)

6.問い合わせ先: 日本テレワーク学会広報部 (担当: 國井)
e-mail: pr@jats-mail.net / TEL(050)5810-3222

【最寄り駅】

東京メトロ半蔵門線「水天宮駅」7番出口より徒歩1分、東京メトロ日比谷線「人形町駅」A1出口より徒歩3分
都営浅草線「人形町駅」A3出口より徒歩5分、都営新宿線「浜町駅」A2出口より徒歩9分



<http://icr.co.jp/company/map.html>